

教育の魅力化

教育長 平木千秋



新年明けましておめでとうございます。昨年度は教育行政に対し多大なるご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、海士町の教育の魅力化に取り組んで2年目になります。教育の魅力化とは何ですかという疑問を聞きます。今実践していることが都会にとつては教育の魅力であり、田舎ではかできない多様な体験が子どもたちの成長を促していると思います。新しいことをするのはなく、学校でやっている事をさらに磨き価値を高めていくことが魅力化に繋がります。自然豊かな環境の中、島の人情に包まれて交流が芽生える事も、魅力化の支えとなります。そして、転入した子どもたちと在学の子どもたちが学習をしたり遊んだりすることで活性化が図られ、新鮮でやる気の起る環境がつけられます。そういう願いを込めて、昨年度から、魅力化の一つである親子島留学制度を始めました。現在一組の家族が崎に住んでいます。1年目で、慣れないことや、どう支援してよいのかなど課題もありますが、

入る側と受け入れる側がお互いに努力を重ね、絆も深まっています。しかし、また他地域への親子島留学の知名度は低く、行政側ももっとアプローチをしなくてはと思っています。親子良し、学校良し、地域良しの三方良しの関係を築きたいです。今年度は3組の親子を受け入れる予定です。どこに住むかは検討中ですが、海士に来て何かに挑戦したい意欲でいっぱいの子供さんです。是非、温かく受け入れて地域で繋がりを持っていただきたいです。学校教育では、『人間力溢れる人材の育成』を目指して教育行政に取り組んでいます。人間力とは持続可能な地域社会をつくる力ととらえています。その要素はいろいろ考えられます。私なりに考えると究極は三つあると思います。自分を高めようとする力の育成。他に優しくする力の育成。そして、ふるさとを大事にする力の育成です。この三つの力が育成された時、海士に貢献する人が育つと思います。島留学中の親子にとつても海士が第二のふるさとになるよう、支援して参ります。

し、終える決断も必要だと考えております。魅力ある教育の推進に向けて尽力して参りますので、本年もどうぞよろしくお願いをいたします。



海士町教育委員を代表して
阿部裕志

新年明けましておめでとうございます。皆さまおそろいで佳き年をお迎えのことと存じます。当会に対して、毎年多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

毎年ふるさとを愛する皆さんが一同に会し、懐かしい話題や民謡、そして豪華景品(?)の福引きは参加者全員に渡り参加の楽しみの一つとなっています。締めには「キンヤモヤ」を全員で賑やかに踊ります。

松江海士後鳥羽会は今年20回目を迎えます。今年も賑やかに楽しいひと時を過ごしたいと思っておりますので、子どもさんやお孫さんも一緒にご家族でお出かけください。また、お友達や海士町ファンの方々も大歓迎です。本年もどうぞよろしくお願いを申し上げます。



松江海士後鳥羽会
会長 村井秋秀

新年明けましておめでとうございます。

海士町連合婦人会は昭和23年に発足し今年で70年の伝統のある会です。最盛期には全地区に婦人会があり、会員も400数名いたようですが、今は2地区の会員と婦人会のない地区の個人会員81名で構成されています。

婦人会は全国的な組織で、昨年10月27日、51年ぶりに島根県で全国大会が開催されました。全国より1400名の会員が島根県民会館に集い交流を深めました。全国どこの婦人会も会員の高齢化による会員数の減少、リーダー不足が大きな課題のようです。海士町に於いても会員が減少する中、町の活性化のためにはなくてはならない組織だと強く認識しておりますので、町民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



海士町連合婦人会
会長 扇谷光恵

年頭所感

新しい年も自立・挑戦・交流

町長 山内道雄



新年明けましておめでとうございます。
さて、国は「地方創生」に自主的・主体的なチャレンジを促し、地方の本気度がいよいよ試されています。

本町の生き方を表すキャッチ・フレーズは「ないものはない」です。それは島にあるモノを磨き、海士の特性を活かすことで外貨獲得を目指すということでもあります。海士町のこれまでの取組みを、安倍総理大臣は所信表明演説で紹介、また石破・山本地方創生担当大臣は本町を訪れ、加速の戦略・優良事例として全国へ紹介されました。マスメディアにも先進事例として取り上げられてきました。お陰様で本町は、全国各地から視察に訪れる大勢のお客様で賑わっています。

そして、昨年11月に東京国際フォーラムで行われた地方自治法施行70周年記念式典では、『自らの創意工夫により、地方自治の充実発展に寄与した』として、本町が総務大臣表彰を受賞いたしました。

た。このたびの栄誉は、偏に町民の皆さまの深いご理解とご協力、ご支援の賜物であり、改めて感謝と御礼を申し上げます。

しかし、海士町のさまざまな取り組みは未だ挑戦事例であつて、成功事例ではありません。総てチャレンジの途上で、チャレンジを止めたら島は沈んでしまうのです。今回の受賞を機に、住民の皆さまと行政がさらに連携して、「海士町に住みたい」「海士町に住んで良かった」と言われるようなまちづくり、新しい年も皆さまと共に自信と誇りを持って取り組んでいきたいと、挑戦の覚悟を新たにすると決まっています。

町民の皆さまの更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年のお世話になり無事終了出来ました。厚く御礼申し上げます。

社会情勢は幾分かの景気回復基調ではあるものの、離島の零細小規模企業は厳しい環境下に置かれています。しかし、我々隠岐國商工会一同は英知を出し行動を起こし、新たなチャレンジを行い地域活性化の為、頑張つて参りますので、今後ともご支援、ご指導をお願い申し上げます。

本年が皆様にとつて幸せな年でありますことを心よりご祈念申し上げます。



隠岐國商工会会長 田仲壽夫

明けましておめでとうございます。

海士町教育委員会は「人間力溢れる人づくり」を進めております。関係者のご努力により、保一高連携教育や島前高校魅力化プロジェクトなどの推進に加え、集落の伝統行事の復活が相次いでいることも、大きな成果だと感じております。

ただし、伝統を守るには、『引き算の発想』も必要です。年々増えているイベントや行事も前例通り行うだけでなく、本来の目的をもう一度問い直

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、消防防災業務にご協力いただき心から感謝申し上げます。

昨年は小規模な林野火災が1件と住宅火災が1件発生しましたが、消防署及び消防団員の迅速での確な消火活動により、延焼なく消火できました。

我々消防団は、住民の生命・財産を守るため、自信と誇りをもって一致団結し信頼と期待に応えられる活力ある消防団を目指して活動しています。

本年も、災害・火災のない住みよい町づくりに町民の皆様と一緒に邁進したいと思います。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。御挨拶といたします。



海士町消防団 団長 前田忠章